

■指標

P2

種類	指標名	単位	説明		平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	利用日数	日	千代田公民館本館の利用日数	目標	280	280	280
				実績	293	303	
成果指標	延べ利用人数	人	千代田公民館本館の延べ利用数	目標	10,000	10,000	10,000
				実績	13,878	14,442	
				目標			
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検

☒	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
☐	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
☒	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】□	
☒	A:高い(義務)
☐	B:普通
☐	C:低い
<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>	
公民館は、地域住民のため、地域の多様な学習機会、学習情報の提供等を通じて、地域住民の学習活動を支援する、地域に密着した重要な施設である。	

目標達成状況の点検

☒	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
☒	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
☐	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた
【目標達成状況 Total判定】	
☐	A:目標よりも大きな成果が得られた
☒	B:概ね目標の成果が得られた
☐	C:目標とする成果が得られなかった
<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>	
地域住民の学習活動を支援するため、地域住民に場所等を提供する施設の管理を行っている。	

実施内容・方法の点検

☐	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
☐	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
☐	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
☐	コストを下げる工夫が考えられる
☒	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】□	
☐	A:見直す余地があり直ぐに実施
☒	B:見直す余地があるが時間が必要
☐	C:見直す余地がない
<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>	
地域住民に広く利用されるよう効率的な施設の維持管理及び修繕等を行い整備の充実を図った。	

■課題と対応方策

課題	施設の老朽化、バリアフリー対応設備の未整備等公民館施設の整備充実を図る必要がある。
次年度における対応方策(改善方策)	公民館施設の整備点検の充実に努め、例年並みの維持管理を行う。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	施設の老朽化に伴う修繕工事及びバリアフリー対応設備の整備を進める。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	あじさい館長 飯田泰寛 担当課名 千代田公民館
事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 休廃止 (年後を目処) ☐ 終了
事業費の方向性	☐ 増額 ☒ 現状維持 ☐ 減額
次年度の取組方針(改善方針)	財政課が進めるFM事業の中で、適正管理を検討する。

二次評価【部長評価】	
部長名	金田 康則 担当部名 教育委員会
確認	☒ 確認
	FM結果を踏まえ、施設の老朽化等に対する整備計画に基づく適正維持管理が必要。

※事務事業コード／ 0110040207

平成 25 年度 事務事業シート

P1

部署名	部 教育委員会	課 千代田公民館	事業年度期限	● 無	○ 有（平成	年度～平成	年度）
会 計	一般会計	款・項・目 100402公民館費	新規／継続 （事業区分1）	継続	市民協働	行政の関与	総合計画コード 3212
事業名	07千代田公民館運営事業						
目 的 （成果）	生涯学習の中核として、時代に即した生活・趣味・教養・親子ふれあい・健康増進などの講座を通じ、地域住民の教養・文化意識の高揚を高める。						
内 容 （概要）	地域の実態と特製を踏まえ、自ら学習活動に参加し、その中で学ぶ楽しさや喜びを感じながら自己実現をはかれるよう、学習機会の提供や専門の講師による各種講座を開設する。						

■事業費 (単位:円)

平成23年度 決算				平成24年度 決算				平成25年度 予算			
事業内容	専門の講師による講義、実技指導による各種講座を開設した。			専門の講師による講義、実技指導による各種講座を開設した。			専門の講師による講義、実技指導による各種講座を開設する。				
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金				
	県支出金			県支出金			県支出金				
	市債			市債			市債				
	その他	624,427		その他	743,737		その他	600,000			
	一般財源	520,073		一般財源	335,763		一般財源	543,000			
	計	1,144,500		計	1,079,500		計	1,143,000			
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分	
	08	報償費	1,144,500	08	報償費	1,077,500	08	報償費	1,122,000		
				09	旅費	2,000	09	旅費	4,000		
							11	需用費	17,000		
		決算額計	1,144,500		決算額計	1,079,500		予算現額計	1,143,000	0	
(参考)	H23当初予算額		1,096,000	H24当初予算額		1,085,000	伸び率(%) 対・決	5.9	対・予	5.3 +	
人件費	職員人件費	0.5 人工	3,998,417	職員人件費	1.0 人工	8,069,847	職員人件費	0.5 人工		3,745,546	
総事業費	歳出+職員人件費		5,142,917	歳出+職員人件費		9,149,347	歳出+職員人件費			4,888,546	

【特記事項】

■指標

P2

種類	指標名	単位	説明		平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	開設数	件	講座及び教室の開設数	目標	20	20	20
				実績	23	27	
成果指標	受講率	パーセント	講座及び教室の開設数定員総数に対する受講者総数の率	目標	75.00	80.00	80
				実績	78.13	96.41	
				目標			
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検

☒	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
☐	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
☒	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】□	
☒	A:高い(義務)
☐	B:普通
☐	C:低い
<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>	
自ら学習活動に参加し、学ぶ楽しさや喜びを感じながら自己実現を図られるよう、27講座を開設し、地域住民の学習活動に努めた。	

目標達成状況の点検

☒	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
☒	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
☐	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた
【目標達成状況 Total判定】	
☐	A:目標よりも大きな成果が得られた
☒	B:概ね目標の成果が得られた
☐	C:目標とする成果が得られなかった
<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>	
講座ごとに受講者総数にバラつきはあるが、目標の80%以上の講座及び教室の開設数定員総数に対する受講者総数の率があり概ね目標の成果が得られた。	

実施内容・方法の点検

☐	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
☐	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
☐	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
☐	コストを下げる工夫が考えられる
☒	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】□	
☐	A:見直す余地があり直ぐに実施
☒	B:見直す余地があるが時間が必要
☐	C:見直す余地がない
<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>	
アンケートを実施して講座を充実していきたい。	

■課題と対応方策

課題	講座の受講者については、講座内容により参加者数が少ないものもありバラつきがある。
次年度における対応方策(改善方策)	各講座閉講時に受講者にアンケート調査を行い、地域住民のための様々な学習活動に対する学習講座を開設する。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	地域住民の学習活動を支援するための講座を開設する。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	あじさい館長 飯田泰寛 担当課名 千代田公民館
事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 休廃止 (年後を目処) ☐ 終了
事業費の方向性	☐ 増額 ☒ 現状維持 ☐ 減額
次年度の取組方針(改善方針)	現在集計している申込み率、参加率の統計のほか、講座の内容に関するアンケートについて、マナビィを活用している関係各課と共有することから始める。

二次評価【部長評価】	
部長名	金田 康則 担当部名 教育委員会
確認	☒ 確認
	講座の内容や費用負担についても検討しながら、魅力ある講座の提供に努めてほしい。